



校長室だより

# 校長室の窓

第 7 号

平成 27 年 12 月 8 日  
萩市立福栄中学校  
発行：柳林 浩一

## 「誰の仕事でもない仕事」は誰がするのか？

「世の中には3つの仕事がある」

これは、イエローハット<sup>かぎやまびでさぶらう</sup>というカー用品を販売する会社を大きな企業に育て上げた鍵山秀三郎<sup>かぎやまひでさぶらう</sup>さん（現在、イエローハット相談役）の言葉です。3つの仕事とは、「私の仕事」「あなたの仕事」そして、「誰の仕事でもない仕事」を指しています。鍵山さんは言っています。「私の仕事」と「あなたの仕事」の間には、無数の数え切れないほどの「誰の仕事でもない仕事」がある。この「誰の仕事でもない仕事」はいったい誰がやるのか。これに目を向けて「誰の仕事でもない仕事」をやっていると、会社は絶対によくはならないし、発展もしない。会社だけではなく、世の中もそうである。「誰の仕事でもない仕事」に目を向け、それをやる人が増えていくことで、みんなが住みやすい世の中になると。



「誰の仕事でもない仕事」とは、言い換えると、絶対にやらなくてはいけない仕事ではありません。しかし、それをやることで、多くの人が助かる仕事だと思います。この福栄地域にも、それぞれ「私の仕事」を持ちながら、「誰の仕事でもない仕事」を大切にされている地域の方々がたくさんおられます。ボランティア活動などはその典型例ではないでしょうか。この福栄中学校も、「誰の仕事でもない仕事」を大切にされている地域の方々や外部の方々に支えていただいています。具体的には、茶道教室や書道教室、学校内外の草刈りや学校の花壇の苗植え、大板山たたら太鼓の練習、農業体験、保育実習などで支えていただいています。本当にありがたいことだと思います。

さて、それでは皆さんの学校生活に「3つの仕事」を置き換えて考えてみましょう。皆さんにはそれぞれ生徒会の委員会活動の仕事や学級の係の仕事、部活動での役割分担などがあります。それらは、「私の仕事」であり、「あなたの仕事」です。責任をもって、役割を果たすことが求められます。それでは、「私の仕事」「あなたの仕事」だけをやっているだけで、学校生活がうまくいくかというと、そうではありません。学校生活においても、「私の仕事」と「あなたの仕事」の間にはたくさんの「誰の仕事でもない仕事」が存在しています。誰かが絶対にやらなくてはいけない仕事ではありませんが、それをすることで、みんなが助かり、みんなが気持ちよく過ごすことができる仕事があるはずです。「仕事」と言ったら少し大げさなので、「行動」「行為」と言った方がよいかもしれません。今は誰もやっていないだけで、その気になれば、学級の中にも、学校の中にも、そして、部活動の時間にも、みんなの役に立つ、みんなが助かる「誰の仕事でもない仕事」を見つけることができるはずです。



「誰の仕事でもない仕事は誰がするのか？」「私にできる仕事であれば、私がやります。」と言える人になりたいですね。そして、この「誰の仕事でもない仕事」に目を向け、行動に移すことが、全校集会で話をした心の中のコップを常に上向きにし、コップの大きさそのものを大きくしていくことにもつながるのです。